

公共施設適正配置・保全実施計画策定にかかる 北部エリア ワークショップ			
場所	江迎町地区文化会館インフィニタス	回数	第3回
日時	2017年9月27日(水) 19:00-21:00		
参加者数	21名		

1. 施設の再編の方向性について

【全体の方向性について】

■今後の方向性案について

集約複合化された場合の跡地利用・維持管理についても、計画性をもって考えるべきだ。その施設に関係する団体と協議していくことが重要になる。

- ・ 集約複合化するには、集約された施設やまとまったところはいいが、そこに持ってこられた元々の施設、運動場等を全部ひっくるめて、跡地利用と維持管理を考えることが大事だと思う。集約複合化した後の維持管理をどうするのかを考えるべき。長期的には、例えば鹿町の支所が老朽化しているから全部壊しますよとなったとき、その跡地をどう活用するのか。計画性を持って検討しないといけない。中央にまとめたはいいが、まとめられた側はどうなるのか。
- ・ 特に地域活用が主となる運動場等については、地区協議会や老人会、婦人会などいろいろな団体があり、一緒に協議し合って維持管理していく方法もあるので、複合化については併せて検討する必要があると思う。
- ・ 遊休地に限らず、複合化された側の施設の跡地利用を含めて検討しなければならない。

【支所・公民館】

■今後の方向性案について

支所・公民館の複合化という方向性は概ね良いと思う。ただし、複合化によって入る機能や入らない機能もあるということを、地域で納得して進めることが重要である。

- ・ 基本的に、支所と公民館を複合化していくという方向性で良いと思う。
- ・ 吉井地区の事例のように、複合化した時に今までの機能が全て入るわけではない。入らない機能、縮小される機能もある。単に新しくなるという明るい未来だけではないため、なくなる機能や縮小される機能について、地元住民が納得して進める必要があると思う。どのように補完するかも地域で検討する必要がある。
- ・ 支所・公民館の複合に伴って郵便局・銀行 ATM も移動すると不便になるため、このような民間サービスにも配慮してほしい。

■江迎支所・公民館

江迎支所に江迎公民館を入れる場合は、駐車場の拡充やバリアフリー対策等が課題となる。江迎公民館に江迎支所を入れる場合は、防災機能の強化が求められる。

- ・ 「江迎支所と江迎地区公民館は、いずれも耐震対策を講じた。複合化する場合は、どちらへも～」とあるが、江迎地区公民館は耐震診断までで耐震対策をしていないはずである。もし耐震診断をしているということならば、いつ、どのように耐震対策をしたのか、その結果を次回示してほしい。(※1)
- ・ 「江迎支所に江迎公民館を移転し、複合化する」とあるが、その場合は江迎支所の背後にある崖地への安全面での対策、津波への対策、そして駐車場の拡充を検討する必要がある。近くに小学校の跡地があるが、それでも支所から遠く高齢者の負担となるだろう。背面に駐車場を作って2階と繋ぐことも案として考えられる。
- ・ 支所はバリアフリー対策が行われていないため、入り口やトイレの整備が必要だ。
- ・ 複合化によって利用者が増えるため、駐車場という観点を重視すれば、公民館に支所を移転する、と逆の考え方もある。利便性で言えば公民館の方が高いだろう。
- ・ その場合は、公民館の入り口周辺の道路の整備、川の氾濫への対策が検討される。また、耐震工事を行うことも必要になる。

■鹿町支所・公民館

鹿町公民館に鹿町支所を入れると良いと考えられるが、その場合は鹿町支所のある地域に郵便局・銀行ATMといった民間サービスを残し、利便性を損なわないようにしてほしい。

- ・ 公民館は建物が新しいため、支所を移転して複合化することがベターだと思う。その場合、歌浦小学校区から距離が遠くなって、高齢者には不便になる。経路となるトンネルは歩道や道路事情が良くないことも不安である。
- ・ 鹿町小学校区の住民は、生活圏が江迎町になっており、年度末の確定申告等で江迎支所を利用している。一方、歌浦小学校区は過疎地域でもあり、支所が集約されたことで郵便局・銀行ATMが遠くなると不便さが増してしまう。
- ・ 住民からは、生活利便性を配慮し、支所の跡地に小規模でも金融機関の窓口を設置してほしい、という要望が出ている。利便性を残す策として、コンビニ内で行政サービスを受けられるようにする等の対策も考えられる。
- ・ JA跡地は十分な広さがあるため、そこに小規模でも支所を設置できるとありがたい。
- ・ 公民館の近隣には様々な施設があるため、それらも一緒に集約することも考えられる。

■小佐々支所・公民館

小佐々公民館を小佐々支所に入れることが考えられるが、その場合は他の施設と一体的に集約することも検討する余地がある。また、楠泊方面への配慮が求められる。

- ・ 公民館と支所が近いため、複合化も受け入れやすいのではないかと。金融機関の ATM も 2 つあるため、あまり問題にならない。
- ・ 公民館の近くに支所や資料館があるが、支所が立派な建物なので、支所のほうに集約できると思う。公民館を中心に、周辺の公共施設もまとめて複合化することも考えられる。
- ・ ただし、支所から遠い楠泊方面は、過疎化が進んでいる地域でもあるため、何か施設をつくるなどの配慮を行ってほしい。

【体育館】

■今後の方向性案について

防災拠点としてのあり方について検討していくことが必要だろう。また、民間に維持管理・運営を委託すれば、良い効果を生む場合もあると考えられる。

- ・ 「避難施設などの防災拠点として追加する」という方針は良いと思うが、地区にとってどのレベルの防災拠点として考えているのか。避難生活もできるような“避難所”として位置付けてほしい。
- ・ 世知原のように、学校体育館を地区の体育館として一緒に利用することになる場合、学校体育館を災害時に避難所として利用するのは子どもたちに気の毒ではないか。地区の体育館が学校の体育館と一緒にならなくて済む場合は、地区体育館を避難所として指定し、災害時に利用した方が体育の授業等には影響がないだろう。
- ・ 先日説明会があったが、世知原体育館は、世知原小学校の建替えと併せて学校の体育館を地区の体育館としても位置付けるという話であった。方針としては理解できた方が多いが、細かな意見も住民から出ていた。反映してもらえると良いと思っている。
- ・ 御橋体育館は、地縁団体が活躍しているので頑張っているのも、そのような団体に譲渡して、管理・運営を任せる等すれば吉井地区にとって良い方向に進むのではないかと。
- ・ 江迎中央体育館、鹿町体育館は地域施設として利用することは良いと思う。管理・運営は民間へお願いするなどの工夫をしていけば良いだろう。今後、地区の体育館は、新しい管理・運営の方法や利用方法を検討していくと良いと思う。

広域的な施設として機能を補完していく場合は、利用率がさらに高まると想定されるため、その施設の地域の住民が優先的に使える工夫を行ってほしい。

- ・ 「広域的な施設」の機能を補完していくと、利便性が高まった分さらに地域外からの広域的な利用率が高まり、地域の住民が利用しづらくなると困ってしまう。
- ・ 広域保管施設であっても、その地域の住民が優先的に利用できる工夫をしてほしい。

近所に施設があるのにわざわざ遠くまで行くような事態が起こるのではないか。一定程度、地域の住民の優先度を担保してほしい。

- ・ 地元サークルでは活動場所を確保できないという課題がある。機能を補完して、改善してほしい。
- ・ 広域施設を使いたいときに、予約が既に入っている、とだけ言われるのではなく、「この施設は広域的に使用されることになっている」と説明を受けたほうが、住民にとって納得感があるだろう。
- ・ 利用料金が高くなって利用しにくくなったので、集約して利用料金を下げるのであれば良いと思う。

体育館を減らす場合は、学校施設を住民も活用できるような形とし、その旨を事前に確約しておくことが望ましいだろう。

- ・ 「学校施設と併せた適正配置を検討する」とあるとおり、今ある施設は減らし、学校施設を使いやすくしたほうがよいと思う。
- ・ 各町に小中学校の体育館もある。こういう地域と広域との利用に分けていくような考え方になっている中で、地域の人が時間的に、短時間ではなくて、ゆっくり半日なら半日、バレーボールなり何なりいろいろ楽しみたいというのがあると思う。そのときに、小中学校の体育館等を有効に使わせてもらうことも含めて考える必要がある。
- ・ 世知原町は、小学校の体育館を建替え、その体育館を住民が利用できるように話が進んでいるが、校長の意向次第で状況が分かる可能性がある。体育館の代わりに学校施設の体育館を利用するように再編する場合は、事前に住民にも利用させるということを確認することが必要だ。
- ・ 体育館も運動場も、児童の授業や部活動を優先させつつ、学校側が利用しないときは住民にも十分に活用させてほしい。

【体育館、スポーツ施設（野球場・多目的運動広場）】

利用率の向上や、貸付・譲渡・売却、多目的化といった方向性について、事例等を踏まえて、具体的なメリット・デメリット等を示してほしい。

- ・ 「利用率の改善を図る」とあるが、利用率云々ではなく、地域にとって必要な施設を最低限どれだけ残すか、ということだと思う。無駄な施設は削って、使える施設は残しましょうということだと思う。この書き方は、言葉を濁していると感じる。
- ・ 今後の方向性だけを見ると、バラ色の未来に見えるが、地域の実情を踏まえると、貸付・譲渡・売却など、本当にそれが実現できるのか疑問が残る。地域での維持管理運営の具体的なイメージがつかめない。具体的にどのようなもので、本当に可能かどうか、成功事例や、メリット・デメリット等を教えてほしい。
- ・ 貸付・譲渡は、短期的にはできないだろう、まずはPR等に力をいれて利用率の向上に

努め、それでも厳しい場合に検討するのではないか。

- ・ 「多目的」と書いてあるが、具体的な内容がわからない。野球場機能を残したまま、様々な目的で利用するのか、何か改修等を行うのか。野球場としての使用に支障をきたすのであれば、軟式野球連盟の関係者の意見も聞くことが必要となる。

■個別施設：千鳥越野球場

野球場としての重要度が高いため、野球連盟と十分な協議を行っていくことが求められる。

- ・ 「千鳥越野球場を多目的運動広場に整備転換できないか」と書いてあるが、多目的運動広場に整備転換すると、野球場として利用できなくなるのではないか。野球場として再整備され、国体でも利用されている充実した施設であるため、野球場として広域的に利用する方向性を探るべきだ。
- ・ 佐世保市の軟式野球連盟の関係者に話を聞いたところ、長崎県内の市町の持ち回りで毎年県大会が開催されており、佐世保市内では正式な野球場として最低 3 球場が必要ということで、それが佐世保市野球場、吉井野球場、千鳥越野球場である。利用率が低くても、軟式の公式野球場として重要である。
- ・ 千鳥越野球場の問題点は、立地の悪さと使用頻度の低さ、費用の大きさである。軟式野球連盟が本当に必要な施設というのであれば、佐世保市との話し合いの場を持ち、これらの問題の落としどころを探るべきだ。ただし、バイパスが完成すれば旧町内からのアクセスは改善する。
- ・ 野球場が不足しており県大会が誘致できないようになったら、中核市に昇格したメリットも少なくなる。
- ・ 近隣の市町村で野球場が増えているため、対抗するために佐世保市内にも体育施設を残したいという気持ちは理解できるが、利用者が少ないのであれば廃止も考慮しなければならないだろう。必ず必要な球場であるというのであれば、軟式野球連盟等の民間で管理・運営することも考えられる。

■個別施設：その他

- ・ 吉井北部運動公園：広いため施設としては利用価値があるが、周辺には何も施設がない。民間に譲渡するのであれば、周辺をある程度整備する必要があるだろう。ソフトボール場とは距離が近く、併せて運用できるようになればそれなりに活用できる。
- ・ 小佐々中央運動公園：近隣に観覧席・駐車場も充実している大きな広場があるため、広域的な利用ができるだろう。ただ、体育関係の活動とスポーツセンターの活動が重複した時などは、大型バスの駐車スペースが不足するという問題もある。
- ・ 世知原野球場・テニスコート利用者は、山暖簾の施設（大浴場）を使う人が多いため、山暖簾に一括して管理を任せると良いのではないか。

【体育館、スポーツ施設（テニスコート）】

■個別施設

- ・ 小佐々テニスコート：部活での利用者が多いという印象である。
- ・ 世知原テニスコート：地域の住民はあまり使っていないようだが、旧佐世保市内からの利用者が多い。
- ・ 鹿町テニスコート：「民間や地域への貸付、譲渡などを検討する」という方針があるが、土のコートであるため雨が降ったら使えないため、民間でも借り手はいないだろう。貸すのであれば、体育館や運動場を含めることが考えられる。残すとしたら、面が少ないため地域利用施設となる。
- ・ 世知原テニスコート：民間施設が近くにあるような方向でなければ、維持は難しいだろう。また、利用者の 90%以上は宿泊客と思われるため、広域施設として環境整備をしたほうがいいのではないか。
- ・ 大悲観テニスコート：中央運動広場を含めて、地域主体で利用しているから特段の問題はないと考えられる。

【小学校・中学校・給食センター】

■今後の方向性案について

学校に関しては、この WS であまり議論を進めない方針が良いだろう。給食センターは、地理的な状況を十分考慮した上で、可能な限り集約をすることが望ましい。

- ・ 「通学区域審議会答申との整合を図りながら、適正な教育環境の確保という観点から、学校の統廃合～」とあるが、まさにその通りで授業や部活動に制限がかからないように、統合を進めていけば良いと思う。ただその際には同時に学校までのアクセス面をどうするのか十分に対策を練った上で進めてほしい。
- ・ 「市民の意見も踏まえながら継続的に検討を進める」とあるが、現状、こどもの数は増減を繰り返している状況なので、拙速に考えず、将来必要になった時に考えるとして、「必要に応じて検討を進める」程度の書き方がよいと思う。
- ・ 学校については、この WS に適さないテーマだと考えられる。今は大枠でしかまとめられない。既に生徒数が減っているため各地域に小中学校 1 校ずつが理想ではないかという思いもある。
- ・ 第 2 回目の資料に「鹿町では小学校が 2 つあり、小学校区の間支所がある。1 つの小学校区で過疎化が進んでおり、支所が公民館に入れば、さらに進展してしまうのではないか」という記述があり、その下に「鹿町から江迎町の小学校に通っている児童もいる」という記述があるが、小学校に問い合わせると、鹿町町から江迎町の中学校に通っている生徒はいるが、鹿町町から江迎町の小学校に通っている児童はいない、という回答であったので、この部分は修正すべきだ。(※2)

- ・ 小学校を統廃合すれば、親による車送迎で通学する児童が多くなるが、児童は歩いた方が良いという先生の意見を聞いたことがある。また、交通費の補助も制約がある（小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上）。
- ・ 給食センターについては、各旧町にあるものを中心部に集約してそこから配送してはどうか。距離的や配送時間を考慮して、子ども達が暖かい給食を食べられる範囲で集約すべきだろう。

【江迎地区公民館文化会館（インフィニタス）】

■今後の方向性案について

場所・機能のポテンシャルが高いため、広域的な利用を目指していけば地域全体の活性化も見込まれる。ただし、他の類似施設への影響も意識しておくことが重要だ。

- ・ 場所として便利であり、音響整備も良いため、利用率の向上に努めるべきだ。公民館の附属施設という位置づけを改め様々な取組みができるようにすることは良いと思う。佐世保市のアルカスのように、広域的に利用される施設になれば、地域全体が活性化する。
- ・ ただし、現時点でも江迎以外からの利用者が多く、あまり空きがない状況である。
- ・ インフィニタスの方向性を決めると、他の似たような公民館のホール等についても影響を受ける可能性があることを意識する必要がある。

【その他】

- ・ まだ具体化されていないものの、消防局にて消防団の再編が考えられているらしい。支所の中に防災本部を置く、という方向性になるかもしれない。
- ・ 御橋観音のビジターセンターは、国の文化財が近くにあり、調理場がついていて駐車場も充実しているが、まったく利用されていない状況にある。民間への貸与や払い下げを検討すべきであろう。
- ・ 防災の観点からみると、世知原町の農村公園はヘリコプターの離発着ができるため防災拠点として活用できるため残しておいて良いだろう

2. ワークショップとその後の検討の進め方について

今後は、地区ごとにより具体的に短期的な取組みについて議論していくことが重要になる。議論のベースとして、既に市が再編内容を決めているわけではないことや、庁内で連携して対応していくという姿勢を示してほしい。

- ・ 今後の方向性案については、これまでの検討の積み上げなので、大枠でどの用途についても、提示内容でよいと思われる。
- ・ 短期的な取組みについては施設ごとになるので、次回同じ地区の人同士で、地区の事情などを鑑みながら具体的に話してお互いの考えを確認、共有しておきたい。その

上で、地元で聞かれた時に話せるようにしておきたい。今後地元での説明会などで揉めないようにするためにも、ワークショップで議論をつくした結果としてまとめたい。

- ・ 地元から、市は具体的な再編内容をすでに決めているのではないかと聞かれる。そうだとしたら、この会議をやる意味がないだろう。市の考えはあると思うが、それを少しでもよくするためにこの会議があると考えている。そのことは確認しておきたい。
- ・ 複合化・統廃合を考えるベースとして、庁内の横の繋がりを十分につくってもらい、柔軟に連携していくという姿勢を示してほしい。所轄課の違いによって、活用方針がまとまらないという事例がある（吉井の公民館・支所など）。

以上

【別紙】

◎指摘事項の説明

- (※1) 江迎地区公民館を「どのように耐震対策をしたのか、その結果を次回示してほしい」とのご指摘について

〔回答〕

江迎地区公民館は平成22年度に耐震診断を実施し、耐震性が無いことが判明しました。そのため、平成26年度に耐震補強の設計を行い、同年度に耐震改修工事を行いました。

※耐震補強箇所は添付の平面図参照（矢印の箇所）

- (※2) 「鹿町地域から江迎小学校に通学している児童はいないので、議事録を修正すべき」とのご指摘について

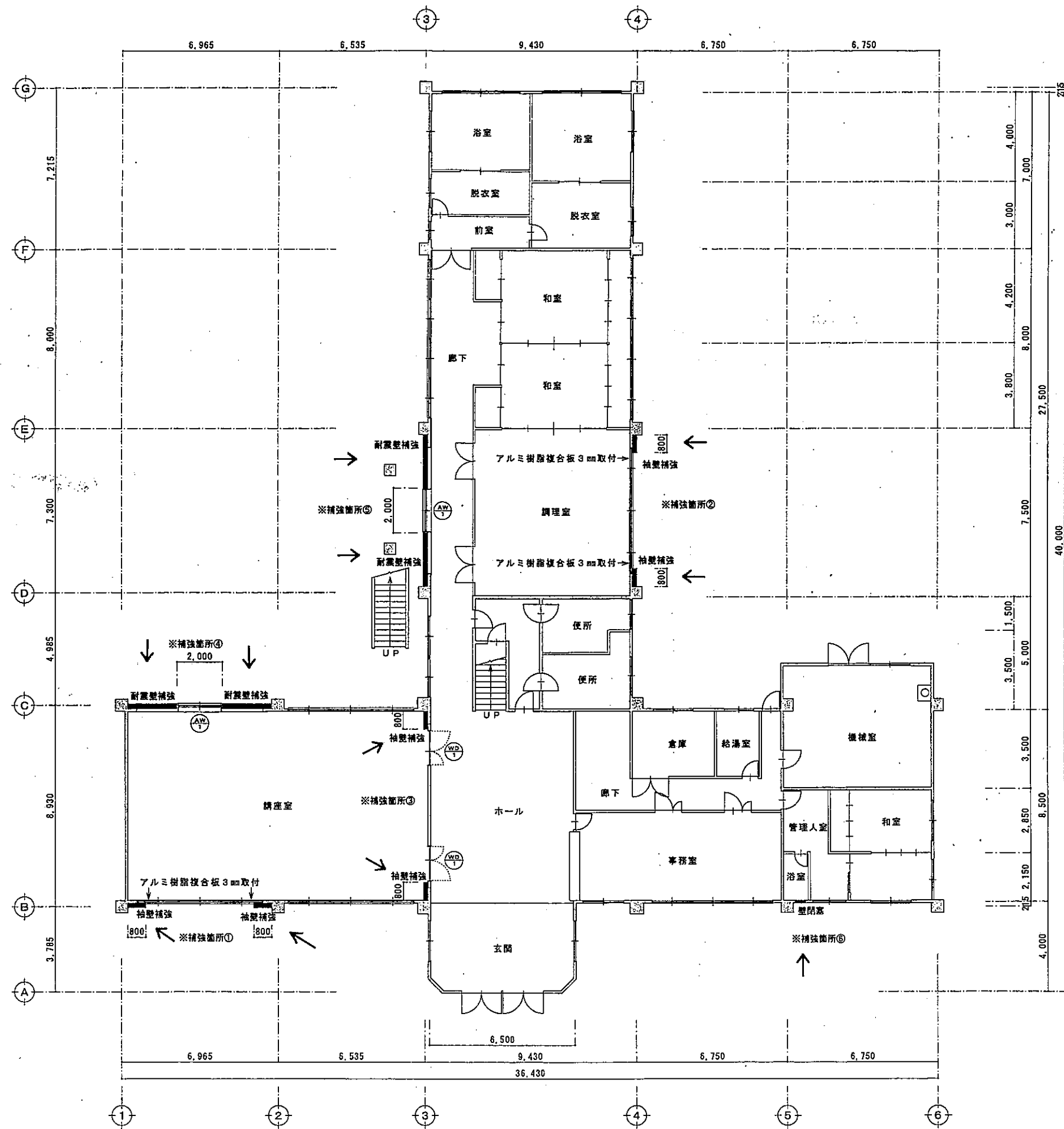
〔回答〕

第1回ワークショップの議事録（第2回ワークショップの資料2）を確認致しましたところ、「江迎町では、中学校は、新築なので、議論の対象にならないだろう。鹿町から江迎町の小学校に通っている児童もいる。」との記載がありました。

この件について、教育委員会に確認したところ、鹿町町内から、江迎小学校に1名の児童が、通学されているようです。（江迎町内から、鹿町小学校へは、0名）

以上のことから、議事録の修正は、行いませんので、よろしく申し上げます。

以上



記 事	月日	承認印	藤下建築設計事務所				設計年月日	設計	検印	承認印	工事名称	設計番号
		課長	支幹	係長	担当	平成25年7月日	監印	担当	承認年月日	江迎地区公民館耐震補強工事	図面番号	
			〒170-3904 東京都豊島区 1-17-3 藤下ビル2F				縮尺	1:100 (A1)			補強1階平面図	A-11
			TEL 0956-(25)2969					1:200 (A3)				